

選考	保健師 専門択一式	No. 1
----	-----------	-------

ロコモティブシンドロームの概念と保健指導に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 運動器の障害による移動機能の低下した状態を指し、そのリスクの低減のために、18歳から64歳には、3メッツ以上の強度の身体活動を毎日60分、また、「今よりプラス10分、身体を動かすこと」を心掛けるよう指導する。
2. 運動器や神経系の障害のため要介護1以上が認定された状態を指し、該当者には介護保険で機能訓練を受けることを勧める。
3. 呼吸器の障害による運動能力の低下した状態を指し、「緩やかな上り坂を歩くときに息切れがある」、「平坦な道を100m歩くと息切れのために立ち止まる」などのチェック項目からなる修正MRC（mMRC）質問票によってリスクの程度を確認するよう指導する。
4. メタボリックシンドローム、がんなどの生活習慣病全般を指す新しい疾患概念であり、罹患リスクのある18歳から64歳には週に23メッツの身体活動を勧める。
5. 過食が原因で発生する脂質異常の状態を指す新しい疾患概念であり、身体活動レベルIの40歳の女性には1800kcal/日のエネルギー摂取を勧める。

選考	保健師 専門択一式	No. 2
----	-----------	-------

スクリーニング検査に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

通常、スクリーニング検査では、陽性判定の基準値（どの値より異常であれば疾病を疑って陽性と判定するか）は固定されていない。陽性と陰性の判定をする境目の基準値を  と呼び、感度と特異度を見ながら適切な値を設定する必要がある。

を高度な異常値から軽微な異常値に変更する、つまり、少しでも異常があれば陽性と判定するようにすると、 は上がり、 は下がる。

- |              | ア | イ    | ウ   |
|--------------|---|------|-----|
| 1. カットオフポイント |   | 偽陽性率 | 感度  |
| 2. カットオフポイント |   | 偽陽性率 | 特異度 |
| 3. カットオフポイント |   | 偽陰性率 | 感度  |
| 4. トレイドオフ    |   | 偽陽性率 | 感度  |
| 5. トレイドオフ    |   | 偽陰性率 | 特異度 |

選考	保健師 専門択一式	No. 3
----	-----------	-------

2020年1月の予防接種法施行令の改正に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

2020年1月に予防接種法施行令が改正され、ロタウイルス感染症が〔ア〕となった。ロタウイルスは〔イ〕を引き起こすウイルスで、5歳までの〔イ〕の入院患者のうち40～50%ほどはロタウイルスが原因である。

〔ア〕には、予防接種法第2条第2項第1号から第11号までに掲げられた疾病と、同条同項第12号の規定を受けて予防接種法施行令で定められた疾病とがあるが、ロタウイルス感染症と同様に、予防接種法施行令で定められた〔ア〕として〔ウ〕がある。

	ア	イ	ウ
1. A類疾病		急性胃腸炎	インフルエンザ
2. A類疾病		急性胃腸炎	水痘
3. A類疾病		細気管支炎	インフルエンザ
4. B類疾病		急性胃腸炎	インフルエンザ
5. B類疾病		細気管支炎	水痘